

令和5年度シラバス

北海道札幌丘珠高等学校

1 科目名（教科）	国語	6 教科書名	
2 講座名	文学国語（2年）	新 文学国語	
3 開講学年	2	7 使用教材	
4 履修区分	必修	学習課題ノート 新文学国語	
5 単位数	2	改訂三版 完全マスター古典文法	

1 科目の目標・学習内容

・多様な物の見方、考え方、感じ方にふれ、物事を総合的に捉えることのできる、幅広い人間性、豊かな感性と判断力を育てる。
・言語事項を総合的に学習し、国語に関する知識を深めることにより、国語に対する関心を高め、国際社会に生きる国語の力を獲得させる。

2 評価の観点・方法

評価の観点		観点の趣旨	具体的な評価方法
【知】	知識・技能	・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技術を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	・ 考査 ・ 単元テスト ・ 小テスト
【思】	思考・判断・表現	・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	・ 考査 ・ 単元テスト ・ 課題
【態】	主体的に学習に取り組む態度	・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	・ 授業への取り組み方の観察 ・ 課題、小テストの取り組み ・ 創作物、提出物

3 学習計画

月	単元名	学習内容	時間	到達目標	観点別	評価方法
4	2 読みの深まり 解釈の多様性を楽しむ 「予感」	1「わたし」の行動と気持ちの変化を、物語の展開に即して整理する。 2「わたし」はどのような人物として描かれているかまとめる。 3「もう一度実家に電話した」ときに、電話の相手の声が二転三転しているように「わたし」が感じたのはなぜか、考える。 4「贅沢な……証拠じゃないの。」という言葉が「わたし」はどう受けとめたか、考える。	6	・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めたり、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察したりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。	【知】 【思】 【態】	・ 単元テスト ・ 単元テスト ・ 取り組み方の観察 ・ 課題の取り組み
5	6 近代の創造 近代の文章に価値を見いだす 「たけくらべ」	1できごとの経過にそって、「美登利」の気持ちの推移をまとめる。 2「美登利」と「信如」は、それぞれどのような人物として描かれているか、まとめる。		・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・明治の作家と作品を知り、言文一致がなされた文学史について理解する。 ・他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。	【知】 【思】	・ 単元テスト ・ 考査

6	「近代の文体をたどる」	3 音読に親しみつつ、明治の作家と作品を知り、言文一致がなされた文学史について理解する。	10	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めたり、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察したりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。	【態】	・取り組み方の観察 ・課題の取り組み
6	表現プラザ1 みんなでつなぐリレー小説 「冒頭書き出し例集」	1 グループでリレー形式の小説を書いて、相互に感想を交換する。	2	・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ・読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めたり、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫したりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。	【知】 【思】 【態】	・単元テスト ・単元テスト ・取り組み方の観察 ・課題の取り組み
6 7	人間の姿と心 心情の表現に読みひたる 「山月記」 唐詩の世界 「白居易」	1 「虎」になる前の李徴はどのような人物として描かれているか、まとめる。 2 袁修はどのような人物として描かれているか。また、李徴にとって袁修はどういう存在か、簡潔にまとめる。 3 李徴は自分が虎になってしまった理由をどのように捉えているか、考える。 4 最後に李徴が叢を出て、自らの姿を袁修の目にさらしたのはなぜか、考えてまとめる。 1 表現技法に留意し古代中国のヒトがどのような思いをしに表したか考える。	10	・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたり、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。	【知】 【思】 【態】	・考査 ・考査 ・取り組み方の観察 ・課題の取り組み
8 9	表現プラザ3 現代に甦る歌物語	1 参考資料として、伊勢物語第4段を読む。 2 和歌・俳句からストーリーを想像して現代版歌物語を書き、交流する。	9	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解	【知】 【思】	・単元テスト ・創作文 ・単元テスト

				我が国の言語文化の特質について理解を深めたり、文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫したりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとし	【態】	・取り組み 方の観察 ・課題の 取り組み
10	史書が伝えるものを捉える 「項羽と劉邦—『史記』を読む」	1 「項羽と劉邦」の本文で描かれる両者の争いの経過と結末について、簡潔にまとめる。 2 項羽の敗因と劉邦の勝因について、本文に書かれた内容を200字程度でまとめる。 3 史記原文を合わせ読む。	8	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めたり、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。	【知】 【思】 【態】	・考査 ・考査 ・取り組み 方の観察 ・課題の 取り組み
11	意味と解釈 表現の意味を捉え直す 「こころ」	1 次の点について考えをまとめる。 「私」はKのことをどう捉えていたか、「私」と「お嬢さん」は、それぞれ相手に対してどのような感情を抱いていたか、考えをまとめる。 2 「私」（=先生）の心情を考える。 3 Kの心情を説明する。 4 次の表現が象徴・暗示することを考える。	8	・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めたり、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。	【知】 【思】 【態】	・考査 ・取り組み 方の観察 ・課題の 取り組み ・考査
12 1	物語に投影された解釈を考える 「花山天皇の退位—『大鏡』を読む」	1 筆者の評論と『大鏡』の原文とを対照させながら、事件の経過を時系列にそってまとめる。 2 『大鏡』では、兼家や道兼をどのような人物として描いているか。本文中の『大鏡』原文をあわせて読み、考えたことをまとめる。	8	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。	【知】	・考査

			・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めたり、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。	【思】 【態】	・ 考査 ・ 取り組み方の観察 ・ 課題の取り組み
2 3	作品の挑戦 作家のストラテジーを読み解く 作品の主題を深める 「少年という名前のメカ」	1 「今までの少年たち」に対して、老夫婦はどのような思いをもっていたのか、考えをまとめる。 2 表現の効果について、考える。 3 「主」（=男性の老人）、「少女」（=若い女性）を特徴づける言葉遣いを抜き出す。	9 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使ったり、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈したりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。	【知】 【思】 【態】	・ 考査 ・ 考査 ・ 取り組み方の観察 ・ 課題の取り組み

4 単元テスト

期末考査の他に、単元テストを予定しています。結果は各単元の【知識・技能】の観点の評価に含めます。実施日や範囲等の詳細は授業内で指示します。

5 その他